



ニリンソウ

新緑の春山 ドンデン山  
 「アオネバ溪谷」



シラネアオイ

主な内容

循環型社会へ 取組みを始めて1年…2	住民税が変わります……………5
佐渡市バイオスタウン構想を公表…3	佐渡市生涯学習推進計画を策定しました…16～17

など

市内の学校給食センターなどの公共施設から排出される、使用済み天ぷら油を軽油の代替燃料（BDF）としてリサイクルし、保育園の送迎バスなどの公用車に使用する取組みを始めて一年が経過しました。今回は、この事業で18年度中に取組んだことや、今年度はどのようなことに取組むのかを紹介します。

天ぷら油を  
軽油の代替燃料として  
利用すると

廃棄物の量が減ります。  
小児喘息・アトピーや酸性雨の原因である硫黄酸化物が出ません。  
CO2の排出量が**ゼロカウント**となり、**地球温暖化防止**に貢献します。

## 18年度 公で基盤づくり

このBDFについては、環境面へのメリットがある一方で、性能面、燃料の安定性などが確立されていません。

学校給食センターなど11施設の公共施設から廃食油を回収し、約5,000ℓのBDFを精製し、保育園バス等の公用車7台に、約4,700ℓのBDFを使用しました。

原料(廃食油)  
燃料特性  
精製単価  
BDF車の安定性 等  
について調査し、データを整理しました。

## 19年度 民の活力で取組拡大

一般車両以外での実証実験

実際に現場で稼働している建設重機にBDFを使用し、環境面や性能面の調査を行います。

廃食油回収モニタリング事業

全島挙げての廃棄物の減、温室効果ガス-6%に向けた取組みの一環として、より多くの廃食油を回収しBDFとして利活用することを推進するために、モデル地区で廃食油の回収について、モニタリング調査を実施したいと考えています。

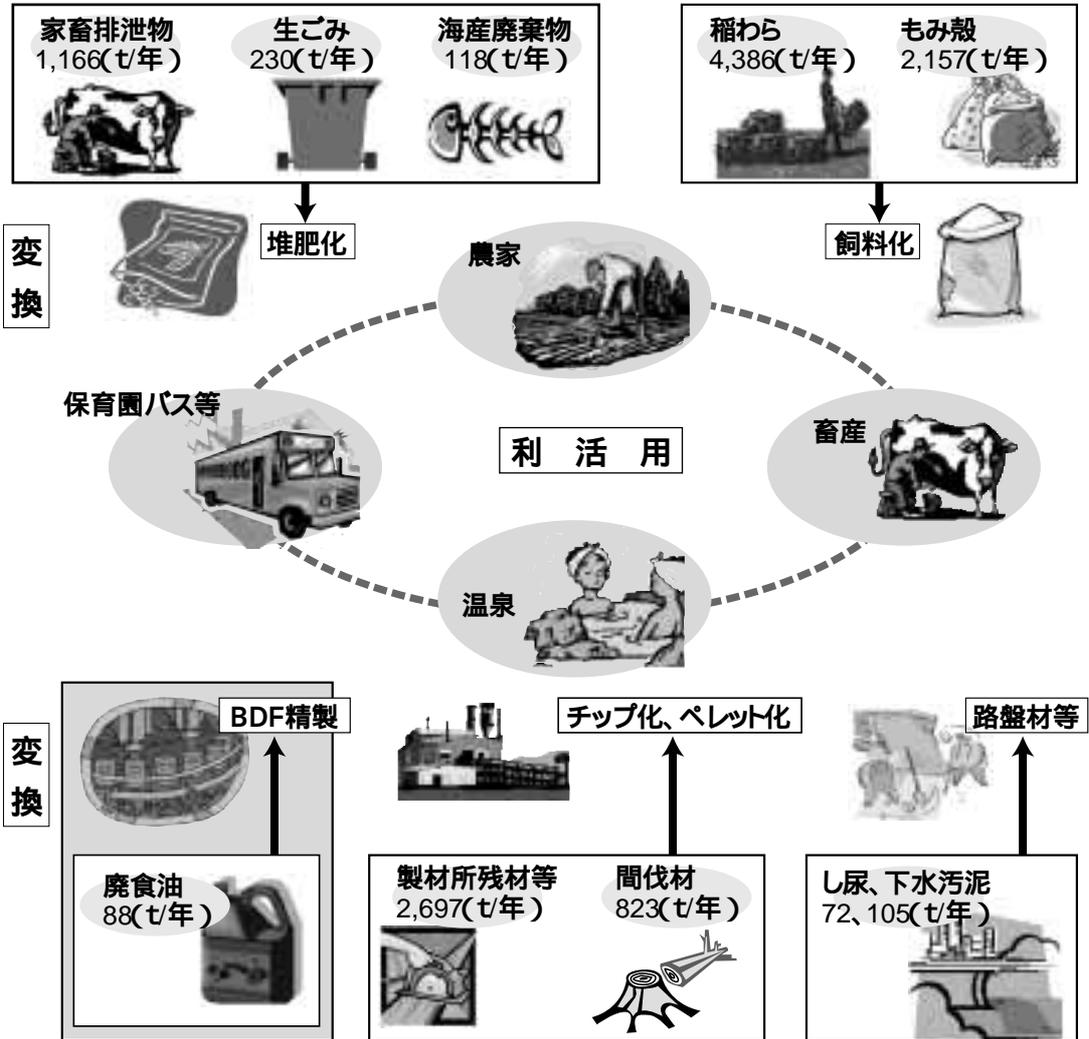
ご理解とご協力をお願いします

平成17年度4月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」において、2010年度に自動車などの輸送用燃料として、バイオマス燃料(バイオエタノール・BDF等)を50万kl(原油換算)を導入することが目標とされています。

脱温暖化は  
自治体主導で!!

循環型社会の構築へ向けて  
取組みの第一歩がスタートして一年が経過しました

## 佐渡市バイオスタウン構想イメージ図



人とトキが共に生きる島づくりを目指して

## 佐渡市バイオスタウン構想を公表

佐渡市では「美しく、環境にやさしい島づくり」を施政方針に掲げ、地域の廃棄物資源、未利用資源を有効活用し、資源循環型社会を目指し新エネルギーの導入に積極的に取り組んでいます。

このたび、佐渡市におけるバイオマスエネルギーの利活用の基本方針となる佐渡市バイオスタウン構想を公表しました。

このように、地域内のバイオマスエネルギーの利活用推進などの目標を定めました

これにより、次の効果が期待できます。

地域内においてバイオマスに関する情報が共有され、資源循環型社会への意識が向上する。

国からバイオマスタウン実現に向けて積極的な支援が受けられる。

バイオマス事業に取り組むことにより地域経済が活性化する。

化石燃料に替わりバイオマスエネルギーを利活用することにより二酸化炭素の削減ができる。

今後、バイオマスタウン実現のために、市民・民間企業・研究機関などと協力してバイオマスの利活用を推進します。

この構想は、国の基準を満たしている計画として認められ、3月29日に農林水産省のホームページで公表されました。

構想は、「人とトキが共に生きる島づくり」を目指し、「木質系バイオマスの利活用推進」と「廃食油を原料としたBDF(軽油代替燃料)の利活用推進」を2本の柱として策定し、家畜排泄物などの廃棄物系バイオマスの90%以上、間伐材などの未利用系バイオマスの40%以上を利活用することを目標としています。

佐渡市バイオマスタウン構想は

左記ホームページでご覧になれます。

バイオマス情報ヘッドクォーター

<http://www.baio-mass-hq.jp/index.html>

市役所 企画振興課

☎ 63

4 1 5 2

3

つのテーマが決定しました！

「佐渡・美しい道プロジェクト」選考結果のお知らせ

佐渡の「道」を中心とした景観、地域づくりを考える取り組みである「佐渡國しま海道」が昨年より募集していました。佐渡・美しい道プロジェクトの選考会が行なわれました。応募総数は21件を数え、主催者側の予想を大きく上回りました。当日も皆さんの熱のこもった発表に選考委員の方々も感心し引き込まれ、選考に苦勞されていました。

選考委員からはプレゼンテーションされたプロ

ジェクトの中で佐渡らしさ、実現性の高いものを中心としつつ、他のすぐれた提案もなるべく活かしたいとの希望が示されました。そこで3つのテーマを持った3つのエリアを決定することとなりました。今後はそれら3つのエリア内で、中心となるプロジェクトとその他の各プロジェクトが連携し、そのエリア内の「道」をより美しく魅力あるものにする作業を、佐渡國しま海道が提案者の皆さんと共に取り組んでいくこととなります。



## 決定したテーマ、エリアは以下の3つです

は中心となる評価の高かったプロジェクト

外海府の海岸線をテーマとしたエリア

### 佐渡島無限海道

申請者 十文字修(吉井本郷在住)

相川 沢根「鉱山」をテーマとしたエリア

### 江戸時代を偲ぶ歴史街道

申請者 松本勝司(上長木在住)

小佐渡東部 トキをテーマとしたエリア

### 「トキ街道」

申請者 NPO法人トキどき応援団

### 「古代・北陸道」

申請者 萬都佐木(まつさき)グループ(松ヶ崎地区)

応募いただいた全プロジェクトは今後も市報などで発表します。

佐渡國しま海道に関する情報はこちら <http://www.sado-kaidou.com/>

お問い合わせ 市役所 建設課 ☎63 5118 E-mail [sadokaidou@yahoo.co.jp](mailto:sadokaidou@yahoo.co.jp)

「事務事業評価表」の名称が

## 「市役所の仕事」花まる通信簿

に決まりました

平成19年2月19日から3月19日までの間、市役所の仕事を点検する「事務事業評価表」のネーミングを募集した結果、8件の応募があり、右記のとおり決まりました。応募いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました。

花は種から少しずつ成長し、芽が出て、花となり、そして実となることから1つのサイクルを形成しています。事務事業評価を「花」、次のステップである施策評価を「実」と位置づけ、将来的には行政評価システムが、美しい島づくり等に貢献できる仕組みにしていきたいと思えます。

これまでの行政改革の取り組みについては、市ホームページ(<http://www.city.sado.niigata.jp/>)の佐渡市行政改革のコーナーでご覧になれます。

### 1 決定したネーミング

「市役所の仕事」花まる通信簿

### 2 ネーミングの説明

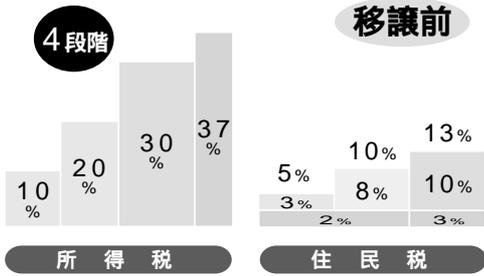
花まるは学校等で成績の高い答案に付けるしるしであり、通信簿は学校が生徒の成績等を父兄に通知する帳簿です。そこで、佐渡市民のだれもがわかりやすく、おぼえやすい名前を、と考えました。

### 3 応募者 甲斐英也さん(新穂地区)

お問い合わせ 市役所 行政改革課(行政評価係) ☎63 - 5136



# 住民税が変わります!



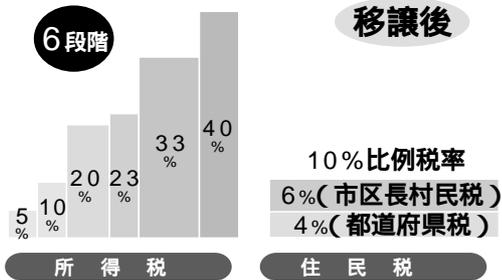
3兆円の税源移譲

地方分権をすすめるため、国税(所得税)から地方税(住民税)へ税金が移し替えられます。

この税源移譲によって、ほとんどの方は**今年1月から所得税が減っており、その分、この6月から住民税が増える**ことになります。

税源の移し替えなので、所得税と住民税を合わせると、負担額はこれまでと基本的には変わりません。

ただし、景気対策として実施されていた定率減税の廃止や、皆さんの収入の増減など、別の要因により実際の負担額は変わりますので、ご注意ください。



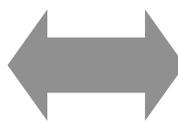
お問い合わせ

市役所 税務課(市民税係) ☎63 5110  
各支所 市民課(税務係)

例) 夫婦 + 子供 2 人の場合 (年額)

給与収入	税源移譲前 (単位: 円)		
	所得税	住民税	合計
300万円	0	9,000	9,000
500万円	119,000	76,000	195,000
700万円	263,000	196,000	459,000

負担合計額は  
同じ



税源移譲後 (単位: 円)			負担増減
所得税	住民税	合計	
0	9,000	9,000	0円
59,500	135,500	195,000	0円
165,500	293,500	459,000	0円

軽自動車税・自動車税の納期限は  
**5月31日(木)**です



お問い合わせ

- 軽自動車税は  
市役所 税務課(市民税係)  
☎63 5110  
各支所 市民課(税務係)
- 自動車税は  
佐渡地域振興局 県税部  
☎74 3310

納税は、納税通知書をお持ちのうえ、

- 軽自動車税は、佐渡市役所・各支所会計窓口、最寄りの金融機関、郵便局
- 自動車税は、佐渡地域振興局窓口、最寄りの金融機関、郵便局、コンビニなどで早めにお納めください。

納税窓口にお越しの際は、納税通知書を必ずご持参ください。